

**製品名: ANP32B ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87678**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:29 kDa; Observed MW:29 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ANP32B
別名	APRIL; SSP29; PHAPI2
遺伝子 ID	10541, 67628, 170724
SwissProt ID	Q92688, Q9EST5, Q9EST6
免疫原	ヒト ANP32B の合成ペプチド

**背景**

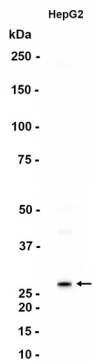
RNA ポリメラーゼ結合活性およびヒストン結合活性を活性化する。アポトーシス過程に関与するシステイン型エンドペプチダーゼ活

性の活性化、ヌクレオソームの組み立て、核からのタンパク質輸送の正の調節など、複数のプロセスに関与する。細胞質および核質に局在し、核小体と共局在する。[Alliance of Genome Resources 提供、2022 年 4 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



ANP32B ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。